

# バイオフィレッシュ2 作物資料

作物：露地ほうれん草

地域：四国

## バイオフィレッシュ2 大雨湿害時の回復事例

2017年10月に約1週間に2度の台風の被害(21号、22号の被害)を受けて、冠水の被害に遭われたほうれん草の圃場。圃場写真の奥側に向かって傾斜があり、台風から10日後(撮影日前日)に降った雨で再び冠水し、雨水が抜け切らない状況になったが、バイオフィレッシュ2を散布したことにより回復した。

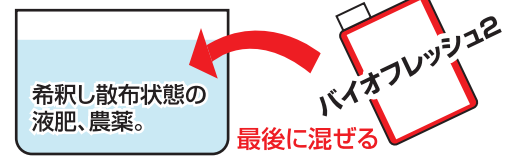
圃場全体が冠水して、諦めかけていたところ『ダメモト』で水の引きかけた手前側だけにバイオフィレッシュ2を10a換算で1Lを噴霧器で散布し、1週間後にもう一度散布した時には既に変化が大きく出ていたとのこと。

手前も冠水したにもかかわらず、バイオフィレッシュ2を散布したことで回復したことに、大変驚いているとのこと評価でした。

### ● バイオフィレッシュ2 湿害直後の使用方法

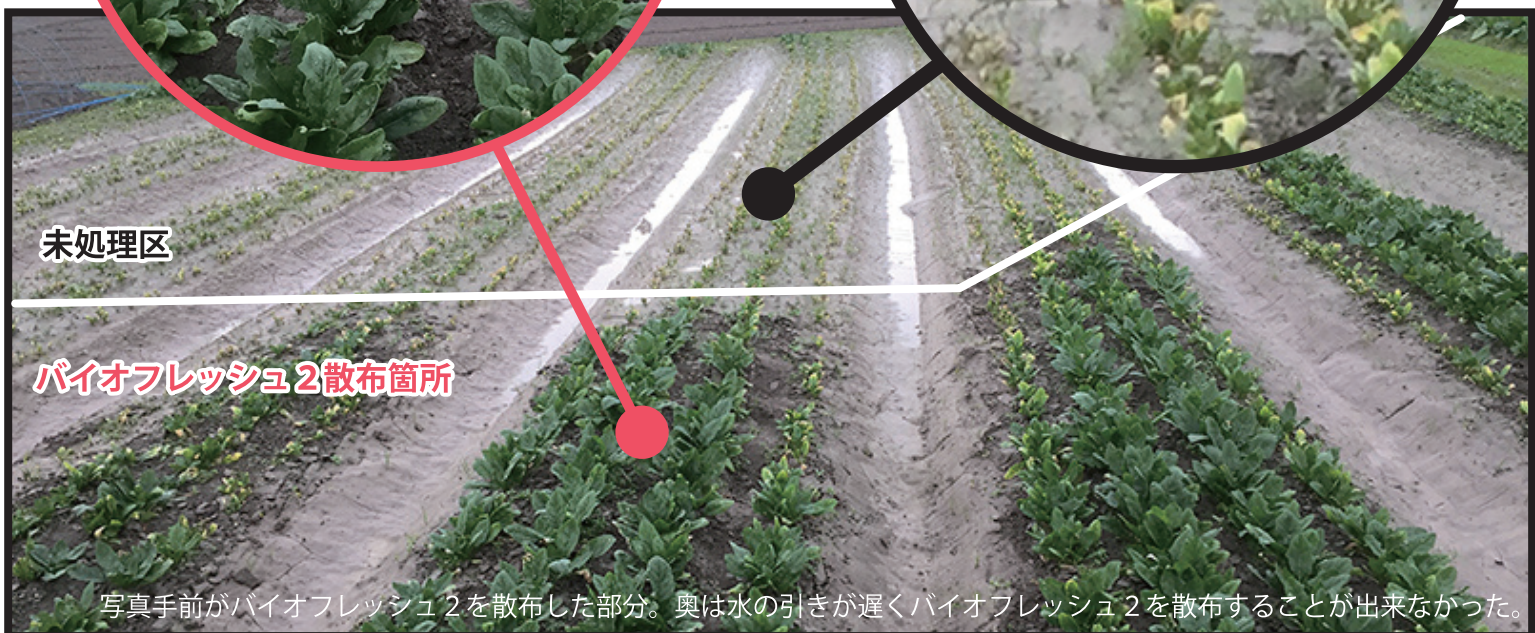
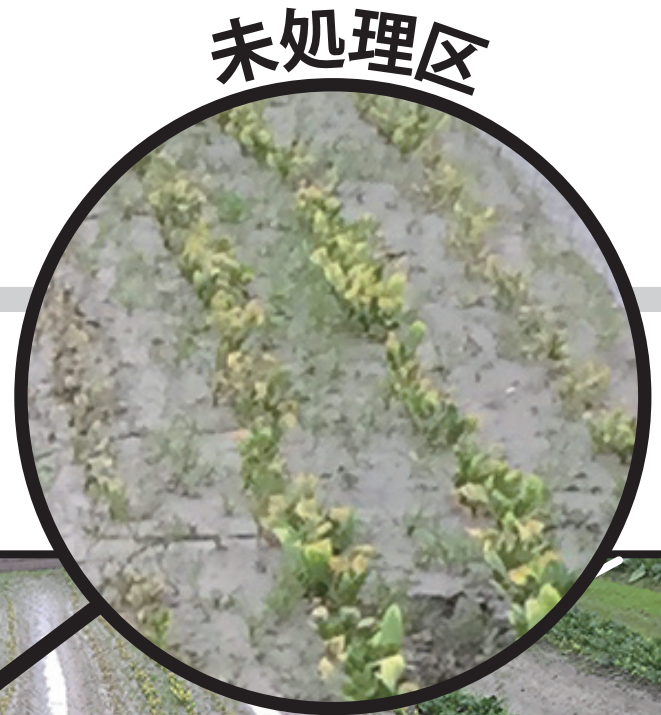
肥料及び、農薬希釈液に10aあたり1ℓを混用し散布。

※希釈倍率ではなく面積換算で施用して下さい。



※バイオフィレッシュ2は根を活性化する資材で農薬ではありません。液肥との混用で効果を高めることができます。

注) 通常は根域から吸収され変化が出てくるが、湿害後なので土壌水分が多いため、噴霧器によるわずかな灌水量でも土壌に浸透し根域において吸収したものと考えられる。根が完全にダメージを受ける前に、通常より濃いめに施用することをおすすめします。



写真手前がバイオフィレッシュ2を散布した部分。奥は水の引きが遅くバイオフィレッシュ2を散布することが出来なかった。

※バイオフィレッシュ2は根を活性化する資材で農薬ではありません。液肥との混用で効果を高めることができます。